

# 広島電鉄サービス向上計画

今年11月に当社は電車開業100周年を迎えます。この間、誠実に、まっすぐに、走り続けて来ました。

この信頼の歴史を力に、これからも広島の人・街・未来に貢献してまいります。

特に、環境対策やバリアフリー化を推進し、皆様とともに、安全で快適に暮らせる街づくりに取り組んでまいります。

今後当社は、お客様へのサービス向上を図るため、国・自治体等のご理解をいただきながら、

ハード・ソフト両面の施策を計画的に進めます。

## 電車

従来の路面電車の走行環境・車両等をグレードアップさせ、人と環境に優しく、経済性に優れた公共交通システムであるLRT化に向けた取り組みを継続して行い、利便性・速達性・快適性・バリアフリー化の向上を図ります。

### 1 路線の再編

●広島駅前通り線について広島市など各関係機関との協議を進め、早期の実現に向けて取り組みます。  
また、平和大通り線についても具体化できるよう検討を進めます。

### 2 超低床車両の導入

●超低床車両を計画的に導入します。(今後10年間程度で10編成程度)  
●超低床車両の運行路線を順次拡大してまいります。

### 3 ICカード利用者の更なる利便性向上

- ICカード全扉乗降方式について、平成23年度に実施したICカード全扉乗降方式の試験車両の運行結果を精査し、導入に向け取り組みます。(※写真は試験車両)
- 運賃についても、わかりやすく利用しやすい運賃制度となるよう取り組みます。



### 4 駅・電停の整備

- 駅・電停の改良を行い、バリアフリー化を進めます。(今後4年間で4ヵ所)
- 宮島線の全駅に点字ブロックを設置します。(平成24年3駅設置で全駅設置)



### 5 情報提供システムの整備

- 新型のLED電車接近案内表示器を増設するなど、情報の提供を充実します。



# バス

広電グループのバス事業者4社がスクラムを組み、路線ネットワークの構築や情報提供サービスの連携に取り組むとともに、ノンステップバスや低公害車両等の導入を進めることで、利便性・快適性・バリアフリー化の向上を図ります。

## 1 路線の再編

●利用者の皆様のニーズに応じた魅力ある路線の設定、需要に応じた運行ダイヤの設定により、一層のバス利用の拡大を図ることで、地域の活性化と街づくりに貢献します。(本年4月1日より当社が呉地域のバス路線を引き継ぎました。)



## 2 車両のサービスレベル向上

●運行路線の需要と走行環境に応じたバリアフリーで環境負荷の少ない低公害車両・低燃費車両を計画的に増やしていきます。(今後4年間で大型バス・中型バスを合わせて100両程度)  
●既存車両でも従来よりもゆったりとしたサイズの「ひろでんオリジナルシート」への交換を進め、お客様の乗り心地・快適性の向上を図ります。(今後4年間で100両程度)



## 3 情報提供サービスの充実化

●運行ダイヤ・運賃等の基本情報を簡単・便利に検索できるホームページへとグレードアップを図ります。  
●乗りたいバスの現在位置や遅延状況などの情報をリアルタイムに提供できるバスロケーションシステムの導入に向け取り組みます。

## 4 バス停の整備

●バス停上屋の整備を促進し、快適な待合空間をつくります。(今後4年間で20基程度)



# 不動産

本年2月に竣工した「広島トランヴェールビルディング」や、ご好評を頂いている分譲マンション「アンヴェール比治山公園」に象徴されるように、高品質で付加価値の高い不動産開発を、「石内東地区開発事業(仮称)」を始めとする今後のプロジェクトにおいても進めてまいります。



## 1 バリアフリー化とセキュリティ機能の充実

●安心して快適に働けるオフィス空間と、敷地・建物の安全性が充たされた住環境の提供に取り組めます。

## 2 環境対策の推進

●オフィスにおいては消費電力や熱負荷の低減に配慮したシステムを積極的に導入し、住宅においては最新の遮熱ガラス等の装備、シンボルツリーの植樹・坪庭等による緑の創出等によりCO2排出削減に努めます。

## 3 利便性の向上

●公共交通機関、公共施設及び商業施設への近接、地下街への接続に優れたオフィスを創造し、住宅においては、交通施設、公共施設、商業施設等へのアクセス等に優れた住環境の提供に取り組めます。

## 4 周辺環境との調和

●住宅開発においては、周辺環境との調和(既存緑地の維持等)を基本とする計画、アフターメンテナンスの向上等に取り組めます。



★お問い合わせ・ご質問はこちら  
<http://www.hiroden.co.jp/>

